

第十一期 『先生のための学校』のお知らせ

第十一期目は、オール国語授業の『先生のための学校』

『先生のための学校』運営委員会 事務局長 山田 周司

いつもと同じように九月から始まる『先生のための学校』。毎年企画ではありませんが、実は内容面での進展が毎期行われる、激変の講座なのです。今期は、全講座「国語科」にこだわった六回連続講座でお届けします。たくさんのリピータの方々と、今期も学び合っていきたいと思っています。

久保齋校長より

みなさんお元気ですか。第十一期の学力研『先生のための学校』は、「国語」にフォーカスして準備を進めています。私は新刊の『予習展開による国語科授業づくり』をテキストに、久保実践の国語を、すべて語りつくそうと考えています。「あの半年の学びで、国語には自信がついた。」「一年から六年までどの学年になっても、物語文の授業でクラスづくりのイメージができた。」と言ってもらえる取り組みにしたいと思えます。

私も学校現場から離れて四年がたちまし

た。この間私は、四つの学校で校内授業研究会に参加させていただき、先生方の授業

を見てきました。校内研究会ですから、事前の相談にものり、指導案を読み、授業を参観し、事後研究会では、先生方の授業改善のための討論を聞き、私なりのアドバイスをすると、百回近く繰り返し返しました。それぞれの学年の授業は十五、六回ずつ見てきたことになりました。この貴重な経験から、新刊『予習展開による国語科授業づくり』は生まれたのです。

教材研究の仕方、主要発問の作り方…。ペアー学習、グループ討論、学級討論の仕方まで、しっかりと学習してほしいと思います。時間のある限り、どんな質問、相談にものりますので、ぜひ、お友だちを誘って受講してください。

今期は、「国語科」に特化！

今期は、十期を一つの節目とすれば、セカンド・ステージの始まりの期になります。

第一講座の国語の授業づくりは、「物語教材の授業づくりで、いかに子ども達をキラキラと輝かせるか。授業で学級づくり。」をテーマに、久保校長が語りつくします。

そして、今期の第Ⅱ講座は、国語科の授業づくりには欠かせない、細かな教材を毎回取り上げて提案します。「話し合い」、「朗読」、「群読」、「漢字」、「作文」、「ことばのきまり」、「詩」と、どの指導、授業づくりも、国語科の授業実践には欠かせないものばかりです。各講師を務めるのは、学力研の若手からベテランまでの常任委員。それぞれの分野について、具体的な授業をイメージしてもらえよう、教材を徹底分析して、語りつくせるよう準備をしています。

また、受講生同士をつなげるための工夫も検討中です。月一回だけでなく、日常、気づいたときにつなげられるよう、ネットを活用した交流の場を準備しています。

身近な方はもちろん、周りの方に「『先生のための学校』に入ろう！」と声をかけてください。今期も実践力を一緒に高めていきましょう。お待ちしております。